

元吉原地区 まちづくり行動計画

元吉原地区まちづくり協議会 令和4年4月発行

本計画は、地区の将来を見据え、各種団体間の連携のもと、地区の課題解決に向け、概ね今後5年間に効果的・効率的なまちづくり活動を地区が一丸となって計画的に実施していくための指針です。

地区の目標とする将来像

高齢者



- 健康寿命が長く、元気な高齢者が生き生きしている。
- 趣味や軽スポーツを楽しんでいる。
- 「向こう三軒両隣り」の精神で、助け合いや交流が図られている。
- 地域包括ケア会議が実施され、地域のサポート体制が確立されている。

子ども



- あいさつができ、活気に溢れている。
- 学校、地域が一体となって、見守り体制が整っている。
- 子どもと高齢者が同じ場所、同じ時間を楽しめるところがある。
- 楽しく参加できる行事がある。

生活



- 公共交通が整備され、買い物や通院など日常生活に不便がない。
- 地域の目が行き届いて治安が良く安心して暮らせる。
- 防災の意識が高く、地域の連携が図られ、災害に強い。
- 安心して利用できる公園など、地域の人が集える場所がある。

自然環境



- 松林が健全に保たれ、景観だけでなく防災としての役割も担っている。
- 浮島ヶ原自然公園や鈴川海浜スポーツ公園などの地域にある豊かな資源が活かされている。
- 綺麗な海岸を守り続け、後世にも受け継いでいく。

地区の資源

自然・歴史



富士登山の出发点「富士塚」

- 浮島ヶ原の自然（サワトラノオ群落は市天然記念物）
- 日本三大だるま市の毘沙門天大祭
- 富士登山の出发点「富士塚」

産業・特産物



田子の浦港

- 田子の浦港
- 鈴川だるま
- 菊づくり



鈴川だるま

生活環境・施設等



鈴川海浜スポーツ公園

- 富士マリンプール
- 鈴川海浜スポーツ公園
- SL博物館
- JR東海道本線駅2ヶ所
- 岳南鉄道（吉原駅が始発）

地区の現状

位置・地理的条件・土地利用

- 市の南東部に位置し、田子の浦港から沼津市まで東西に細長く、北の沼川と南の駿河湾に挟まれた海浜地区。
- JR東海道本線の駅が2駅あり、旧東海道が地区を横断している。
- 住宅地、工業地、農地が多く、商業地が少ない。

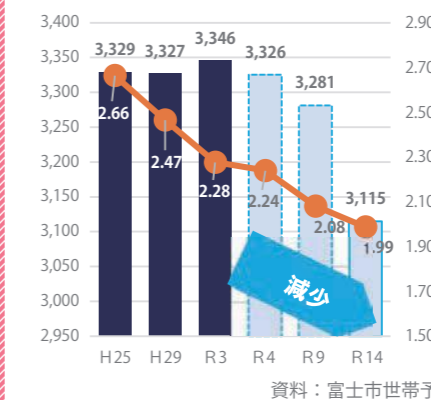
人口・くらしの環境

- 横に並ぶ17の町内会で構成されている。
- 市内の他地区に比べて、人口減少が著しい。
- 高齢化、少子化が顕著。
- 空き家率が高い（市平均の2倍）。
- 病院や、買い物する場所が少ない。
- 地区内を走るバスの本数が減少している。

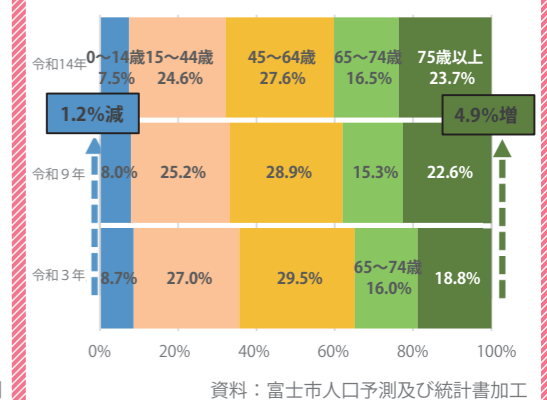
人口の推移



世帯数・世帯当たりの人口の推移



年代別構成



魅力ある自然・歴史・文化を大切に 住んでよかった 訪れてよかった環境整備のまち 元吉原

地区の課題

高齢者を取りまく環境について

- 元気な高齢者が活動できる場の創出
- 一人暮らしの高齢者の支援
- 健康寿命を長くする
- 世代間交流の促進

子どもを取りまく環境について

- 次代を担う子どもたちの育成
- 学校、家庭、地区の連携
- 安心して子育てができる環境整備

生活環境について

- 生活に必要な移動手段の確保
- 街路灯の整備や見回り等による犯罪の抑制
- 気軽に集える場の創出

自然環境について

- 富士山の良好な眺望を活かす
- 松林の適正な管理、保全
- 浮島ヶ原などの豊かな自然の保全
- 海岸の浸食や高波、高潮の対策

コミュニティについて

- 組織や行事の整理による負担軽減
- 地域の資源を活かしたまちづくり
- 誰もが気軽に参加できる行事の実施
- 持続可能な組織作りのための人材育成
- 各世代の顔が見える関係づくり

活動方針

● 活気あるまちづくり協議会を目指し、組織体制の整理や人材育成を図ると共に、情報の発信に努めます。
また、富士山の眺望や松、浮島ヶ原、海岸、公園などを、地域、企業、行政の連携のもとで適切に守ると共に、さらに引き立つよう有効な活用を図ります。

総務・環境委員会

● 次代を担う青少年を健全に育成するために、目の前の諸問題に向き合い、情報の把握と学習を深めながら、明るいまちづくりと非行防止に取り組みます。

青少年育成委員会

● 地域の住民の方々と文化面を通して教養を深めると共に、交通安全並びに防災の普及について各種企画を通して浸透するように努めます。

文化・安全委員会

● 少子高齢化の中で、地域の人たちがより多く参加できるよう創意工夫をし、親睦と融和を図りながら健康維持と増進を図ると共に、高齢者がより多く参加できるニュースポーツの普及に努めます。

体育委員会

● 誰もが健康で安心して暮らせる元吉原の実現に向けて、地域住民が主体となって相互に協力し合い、地域福祉の向上を図ります。
また、学ぶ・体験する、実践する、協力する・地域とつながるを柱に、諸団体と連携して地区の健康づくりに取り組みます。

福祉・健康委員会

● 予想される大地震や富士山の噴火、台風などの風水害に対応するために、災害に対する知識や防災意識の普及に努めます。

防災委員会

- まちづくり協議会の組織体制について検討
- 次代を担う人材の育成
- 元吉原海岸クリーン作戦
- 鈴川海浜スポーツ公園の管理・清掃活動
- 市立高校の市役所プランと連携した活動
- 小学校や地区と連携した食育活動
- 環境に関する講演会などの啓発活動

- 街頭補導
- 青少年健全育成講演会
- 青少年育成委員会と関係団体との合同研修会
- 交通安全・青少年健全育成風揚げ大会、凧作り教室

- 地区文化祭
- あるけあるけ大会
- 交通安全・青少年健全育成風揚げ大会
- 凧作り教室

- 地区体育祭
- 地区グラウンドゴルフ大会

- 配食サービス、ふれあい昼食会
- 世代間の交流を深める事業、親子ふれあい事業
- 高齢者や子どもなどへの見守り活動、声掛け運動
- 福祉・昔の遊び体験
- 認知症サポーター養成研修
- プレパパママ先輩交流事業
- 運動、食育などの講座や講習会
- 小、中学生を対象とした教室、講座
- 広報誌の発行

- 防災訓練
- 地区防災会議
- 防波堤改善、養浜工事要望活動

実施事業